

令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況

8/13 16:00時点

- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約42kmを規制解除し、約93kmにおいて救急車や給水車などの緊急車両の通行を確保
- ・8月11日9時に九州道 八代ICから坂本PA間で緊急車両の通行を確保し、これにより九州道全線で緊急車両が通行可能
- ・8月14日朝には、一部対面通行となるが九州道全線(松橋ICからえびのIC)で一般車両も通行可能予定
(九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保)
- ・8月後半までに、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行可能予定(南九州道による八代へのアクセスルートが確保)
- ・九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- ・国道3号については、8月4日から7日(夜間)で、主要3箇所の舗装修繕を完了。引き続き、8月10日夜間からその他の箇所の路面修繕を実施中
- ・並行する県道338号の横江大橋については 8月中旬頃、国道219号の新萩原橋については 8月下旬に一般車両の通行可能となる予定

県道338号 横江大橋
・8月中旬 一般車両通行可能
<被災状況> 橋脚傾斜



国道219号 新萩原橋
・8月下旬 一般車両通行可能
(8月1日から緊急車両通行可)
<被災状況> 橋脚損傷


